



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年12月19日

上場会社名 株式会社ジーンズメイト 上場取引所 東
 コード番号 7448 URL <http://www.jeansmate.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西脇 昌司
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 砂田 真一 (TEL) 03(5738)5555
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月26日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の業績（平成26年2月21日～平成26年11月20日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	7,068	△1.6	△57	—	△33	—	△198	—
26年2月期第3四半期	7,180	△9.4	△565	—	△528	—	△640	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年2月期第3四半期	△18.19		—					
26年2月期第3四半期	△58.60		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
27年2月期第3四半期	7,200	—	5,141	—	71.4
26年2月期	7,059	—	5,341	—	75.7

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 5,141百万円 26年2月期 5,341百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想（平成26年2月21日～平成27年2月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	△1.3	0	—	25	—	△150	—	△13.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年2月期3Q	12,651,466株	26年2月期	12,651,466株
27年2月期3Q	1,725,277株	26年2月期	1,724,589株
27年2月期3Q	10,926,619株	26年2月期3Q	10,927,432株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実行中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成26年2月21日から平成26年11月20日まで)におけるわが国経済は、企業収益が徐々に改善され緩やかな景気回復の流れが続いておりますが、個人消費につきましては、消費税率引き上げや円安等による物価上昇の懸念もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社では引き続き業績の回復と安定成長への基盤づくりに向けて取り組んでまいりました。

商品面におきましては、上半期では春物商品の立ち上がりで苦戦いたしましたが、例年よりも早めに投入した夏物商品は順調に立ち上がり、当シーズンの重点販売商品である機能素材(ゼロステイン：汗じみが目立ちにくい素材)を使ったポロシャツや半袖Tシャツをはじめとして、ショートパンツなどが全体を牽引いたしました。下半期に入ってから、気温の低下とともにパーカ等の羽織り物やセーター等の冬物商品が好調に推移いたしました。その一方で、デニム5ポケット等のボトムス類やアンダーウェア類は期間を通して前年を下回る水準で推移いたしました。

販売面といたしましては、メール配信や新聞折込広告及び雑誌広告を継続するとともに、重点販売商品の新聞一面広告の掲出やホームページのリニューアル等を実施しながらお客様へのアプローチを充実させてまいりました。

また、プライベートブランド(メンズ「Blue Standard」、レディース「innocent blue」)を軸に生活雑貨等をミックスした新業態店舗「comfort blue(コンフォートブルー)」を4月に立ち上げ、新たなユニセックス業態のチャレンジを開始するとともに、これまで自社サイトのみで運営していた通信販売におきましては、9月に大手通販サイト「Amazon(アマゾン)」へ出店いたしました。

出退店につきましては、上記の「comfort blue」、「Blue Standard」及び「JEANS MATE」をそれぞれ1店舗(合計3店舗)出店し、「JEANS MATE」2店舗及び「ワケあり本舗」1店舗を退店したことにより当第3四半期会計期間末の総店舗数は98店舗(うち24時間営業店舗は17店舗(すべて「JEANS MATE」))となりました(業態内訳は下表参照)。

以上の結果、売上高70億68百万円(前年同四半期比1.6%減)、営業損失57百万円(前年同四半期は営業損失5億65百万円)、経常損失33百万円(前年同四半期は経常損失5億28百万円)、四半期純損失1億98百万円(前年同四半期は四半期純損失6億40百万円)となりました。

なお、従来より実施していた弊社独自のポイントカード制度は平成26年2月28日をもって終了いたしました(ポイントの使用は平成27年2月28日まで可)。当制度が終了したことにより、当第3四半期累計期間の売上総利益率が1.0ポイント改善しております。

業態別店舗数

業態	店舗数	出店地域(都道府県)
JEANS MATE	79店舗	東京 神奈川 千葉 埼玉 静岡 愛知 大阪 兵庫 広島 山口 福岡
ワケあり本舗	11店舗	東京 神奈川 千葉 愛知 三重 大阪 兵庫
Happy Door	3店舗	神奈川 栃木 広島
Blue Standard	2店舗	大阪 福岡
STREET	2店舗	千葉
comfort blue	1店舗	東京

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ1億41百万円増加し、72億円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ2億18百万円減少し、42億81百万円となりました。これは主に商品が6億95百万円増加しましたが、有価証券が5億54百万円減少、現金及び預金が4億55百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ3億60百万円増加し、29億18百万円となりました。これは主に敷金及び保証金が1億16百万円減少しましたが、投資有価証券が4億78百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ3億41百万円増加し、20億58百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ3億45百万円増加し、12億56百万円となりました。これは主に支払信託が1億49百万円減少、ポイント引当金が1億43百万円減少しましたが、買掛金が5億78百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ3百万円減少し、8億2百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ2億円減少し、51億41百万円となりました。これは主に四半期純損失を1億98百万円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績予想につきましては、平成26年9月22日に公表いたしました「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」の記載から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において営業損失6億82百万円、当期純損失7億56百万円となり、当第3四半期累計期間においても営業損失57百万円、四半期純損失1億98百万円となりました。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当該状況を解消又は改善すべく、商品力及び販売力の強化を中心に収益力の回復に取り組んでまいります。

① プライベートブランドの拡充

当社の男性向けメインブランドである「Blue Standard」は発売開始以降、着実に拡大させることができておりますが、これまで未着手であった女性向けのブランドにつきましては前事業年度末に「innocent blue」として立ち上げました。今後は両ブランドを軸にその他のプライベートブランドの動向も検証しながら、お客様にご支持いただけるよう努めてまいります。

② 売上総利益の改善

プライベートブランドを拡充していくとともに、在庫効率を高めることで売上総利益の改善を目指してまいります。前事業年度の下半期より不振商品の処分を強化した結果、商品在庫の当期首残高は前期首残高に比べ約20%減少いたしました。今後も在庫量や販売期間等を見極めながら在庫効率の改善に努めてまいります。

なお、当第3四半期累計期間の月末平均在庫原価は前年同四半期に比べ約14%減少しております。

③ 「伝える売場」の構築

従来の価格訴求中心の売場ではなく、個々の商品情報(デザインや機能等のセールスポイント)をお客様に確実にお伝えできる売場を整備し、お客様に購買意欲を高めていただけるような売場づくりに取り組んでまいります。

④ 新業態店舗の確立

これまでは基幹業態である「JEANS MATE」をはじめとして「ワケあり本舗」、「Happy Door」、「Blue Standard」を運営してまいりました。また、前事業年度には「STREET」を、4月には「comfort blue(コンフォートブルー)」を新たな業態としてオープンいたしました。今後は各業態の動向を検証しながら収益力の強化に取り組んでまいります。

上記を中心とした施策を講じながら収益力の回復に努めてまいりますとともに、今後の運転資金は十分に確保できていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月20日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	928,095	473,019
売掛金	110,472	232,231
有価証券	1,954,116	1,400,015
商品	1,357,005	2,052,451
その他	151,015	124,018
流動資産合計	4,500,705	4,281,736
固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	644,111	1,122,482
敷金及び保証金	1,910,756	1,794,123
長期未収入金	174,000	173,100
その他	3,528	2,354
貸倒引当金	△174,000	△173,100
投資その他の資産合計	2,558,396	2,918,959
固定資産合計	2,558,396	2,918,959
資産合計	7,059,101	7,200,696
負債の部		
流動負債		
支払信託	149,118	—
買掛金	182,447	761,311
賞与引当金	24,633	6,037
ポイント引当金	170,842	27,200
店舗閉鎖損失引当金	—	96
資産除去債務	7,864	9,530
その他	376,534	452,719
流動負債合計	911,440	1,256,896
固定負債		
資産除去債務	457,645	454,505
長期未払金	335,877	335,877
その他	12,214	11,711
固定負債合計	805,736	802,094
負債合計	1,717,176	2,058,990
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,812	2,015,812
資本剰余金	2,125,434	2,125,434
利益剰余金	2,458,122	2,259,317
自己株式	△1,259,845	△1,259,991
株主資本合計	5,339,523	5,140,572
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,404	△621
繰延ヘッジ損益	△2	1,755
評価・換算差額等合計	2,401	1,133
純資産合計	5,341,924	5,141,706
負債純資産合計	7,059,101	7,200,696

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年11月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年11月20日)
売上高	7,180,783	7,068,884
売上原価	3,999,348	3,487,160
売上総利益	3,181,435	3,581,723
販売費及び一般管理費	3,746,480	3,639,101
営業損失(△)	△565,045	△57,377
営業外収益		
有価証券利息	22,144	16,245
受取賃貸料	9,195	16,110
その他	14,336	7,749
営業外収益合計	45,676	40,104
営業外費用		
賃貸費用	8,910	16,110
その他	703	340
営業外費用合計	9,613	16,450
経常損失(△)	△528,981	△33,723
特別損失		
減損損失	79,493	129,275
店舗閉鎖損失	—	3,628
特別損失合計	79,493	132,904
税引前四半期純損失(△)	△608,475	△166,627
住民税	31,880	32,177
四半期純損失(△)	△640,355	△198,804

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。